

平成31年3月作成

		チェック項目	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	スペース的には基準を満たしており特に問題はない。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置数は基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建物の構造上(一軒家)全面バリアフリーにはできないが、ジョイントマットを敷き段差の解消に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	月1回全職員でミーティングを実施しており、その中で業務改善についての意見を出し合い目標設定をしているが、振り返りが十分できていないため、次月のミーティング項目に「前月の振り返り」という項目を追加し、来年度から実施することとなった。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	平成30年は6月にアンケートを実施し、必要に応じて保護者との話し合いの場を設け改善の動きをとった。3項目ほど現時点で改善の余地があるため、来年度から実施できるよう計画を立てた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価の結果は平成31年3月末までにホームページで公表した。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価は行っていないが、毎月会議を開催し、顧問、代表取締役、部長、マネージャー、施設長で会議を開催し、課題の整備等PDCAサイクルに基づく業務改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修は、案内が届き次第回覧し希望者が参加している。内部研修は臨床心理士による療育研修を月1度実施しているが全員参加に至っていない。来年度は研修参加と評価制度を連動し、平等に研修参加の機会を与える仕組みの構築を検討している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低年2回半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	「一般発達検査表を参考に、適応行動状況を図るといいのではないか」という意見が出た。実際の運用に至っていないため、スタッフが平等な見立てをするために来年度から使用することとなった。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	療育サポーターが立案している。全体で話し合い来年度からチームでの立案を実施していくこととなった。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	午前の活動と午後の活動をそれぞれ設定することで、子どもたちが飽きない工夫をしながらプログラムを設定し支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1日の活動で必ず集団活動を取り入れている。基本的な生活習慣や作品作り等については、子どもの状況に応じ適宜個別活動も行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	勤務開始時間が異なるスタッフがいるため、前日に次の日の確認事項を申し送りノートに記入し、次の日にはそのノートを通じて支援内容や役割分担を確認するとともに、口頭でも伝えるよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフが夕礼を行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	創作活動や余暇の提供に関する支援は行えているが、学校との連携や地域交流を取り入れた支援ができていない。来年度は放課後デイサービスや児童クラブ等と連携をとるために計画を立てることを職員間で話し合い実施していく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的に子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加するが、できない場合は担当から状況を聞いた上で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学後に利用された子どもに関しては、就学前の情報が記載されているサポートブックを通じて保護者と共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	学校、保護者様、相談支援専門員との担当者会議、障害福祉サービス事業所見学付き添い等を行い、連携を図りながら支援を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センター主催の研修に参加しているが、それ以外で連携をとる機会がない。助言を受ける機会を設けていただけなのであれば、是非お願いしたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は計画に組み込んだので、最低1回は実施する予定である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	子どもの対応を優先し毎回参加できていないが、議事録を後日印刷しスタッフに回覧し共有している。市が主催する福祉まつりや合同研修会へは積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所やご自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	母子通所をしている保護者には直接行っているが、それ以外の保護者に対しては、日々の送迎時にお伝えしたり保護者面談の機会を設け、その中でお伝えしている。月1回臨床心理士の保護者相談会も実施しており、希望者には無料参加していただき、ペアレント・トレーニングの支援を行っている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	施設で行う夏祭り等の行事に保護者をお誘いし、交流できる機会を提供している。来年度に向け保護者会の開催計画を立てたので、実施予定となっている。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺うか電話で謝罪をしている。相談支援専門員にも連絡し再発防止に努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには手話、施設内の構造化、単語や二語文、身振り手振り、視覚化等で、保護者には繰り返しや具体的な説明等の配慮をしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	施設の構造上、大勢の方をお招きすることは物理的に困難であるため行っていないが、同市内のグループ事業所では、ご近所の方をご招待した餅つきや流しそうめん等を開催している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できおり、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に数回、火災・地震・水害等の避難訓練を実施し、避難場所への道のりを確認している。紙芝居やDVDを使い、視覚的にもわかりやすい訓練を行う工夫をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックをし、事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を書面で確認し、スタッフ間で共有し対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。	

平成31年3月作成

	チェック項目	回答
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準の倍の広さがある。スペース的には基準を満たしており特に問題はない。
	2 職員の配置数は適切であるか	職員配置は基準を満たしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	全面バリアフリーである。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	業務改善については、普段から気づいた点を各自施設長に伝え、必要であれば会社に報告し改善する仕組みができています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	平成30年は6月に保護者向け評価表によるアンケート調査を実施。改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価の結果は平成31年3月末までにホームページで公表した。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価は行っていないが、毎月会議を開催し、顧問、代表取締役、部長、マネージャー、施設長で会議を開催し、課題の整備等PDCAサイクルに基づく業務改善を行っている。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修は、案内が届き次第回覧し希望者が参加している。内部研修は臨床心理士による療育研修を月1度実施しているが全員参加に至っていない。来年度は研修参加と評価制度を連動し平等に研修参加の機会を与える仕組みの構築を検討している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低年2回半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	「一般発達検査表を参考に、適応行動状況を図るといいのではないかと」という意見が出たものの、実際の運用に至っていない。スタッフが平等な見立てをするために、来年度チームで検討し使用できるところまで持って行く予定。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	立案は、担当が考えたものをチームで話し合い活動担当が準備し実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校休業日や長期休暇等は、午前の活動と午後の活動に分け、子どもたちが飽きないように工夫しながらプログラムを設定し支援している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1日の活動で必ず集団活動を取り入れている。基本的な生活習慣や作品作り等については、子どもの状況に応じ適宜個別活動も行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	勤務開始時間が異なるスタッフがいるため、前日に次の日の確認事項を申し送りノートに記入し、次の日にはそのノートを通じて支援内容や役割分担を確認するとともに、口頭でも伝えるようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフが夕礼を行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	創作活動や余暇の提供に関する支援は行えているが、学校との連携や地域交流を取り入れた支援ができていない。来年度は放課後デイサービスや児童クラブ等と連携をとるために計画を立てることを職員間で話し合い実施していく。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的に子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加するが、できない場合は担当から状況を聞いた上で参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学後に利用された子どもに関しては、就学前の情報が記載されているサポートブックを通じて保護者と共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センター主催の研修に参加しているが、それ以外で連携をとる機会がない。助言を受ける機会を設けていただけなのであれば、是非お願いしたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は計画に組み込んだので、最低1回は実施する予定である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	毎回参加し、議事録を後日印刷しスタッフに回覧し共有している。市が主催する研修会等へは積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所やご自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	日々の送迎時にお伝えしたり保護者面談の機会を設け、その中でお伝えしている。月1回臨床心理士の保護者相談会も実施しており、希望者には無料参加していただき、ペアレントトレーニングの支援を行っている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の活動の支援は行っていないが、不定期ではあるが保護者会の開催をしたり、施設で行う夏祭り等の行事に保護者様をお誘いし、交流できる機会を提供している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺っている。相談支援専門員にも連絡し、再発防止に努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者様へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に署名捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化、単語や二語文、身振り手振り、視覚化等で、保護者には繰り返しや具体的な説明等の配慮をしている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域柄ご招待できていないのが現状であるが、同市内のグループ事業所では、ご近所の方をご招待した餅つきや流しそうめん等を開催している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者様と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できており、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者様に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、火災・地震・水害等の避難訓練を実施し、避難場所への道のりを確認している。水消火器を使い消火訓練を行う等工夫をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックをし、事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を確認し、スタッフ間で共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。	

	チェック項目	回答
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	スペース的には基準を満たしており特に問題はない。
	2 職員の配置数は適切であるか	職員配置は基準を満たしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建物の構造上(一軒家)全面バリアフリーにはできないが、ジョイントマットを敷き段差の解消に努めている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	業務改善については、普段から気づいた点を各自施設長に伝え、必要であれば会社に報告し改善する仕組みができています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	平成30年は6月に保護者向け評価表によるアンケート調査を実施。改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価の結果は平成31年3月末までにホームページで公表した。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価は行っていないが、毎月会議を開催し、顧問、代表取締役、部長、マネージャー、施設長で会議を開催し、課題の整備等PDCAサイクルに基づく業務改善を行っている。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修は、案内が届き次第回覧し希望者が参加している。内部研修は臨床心理士による療育研修を月1度実施しているが全員参加に至っていない。来年度は研修参加と評価制度を連動し平等に研修参加の機会を与える仕組みの構築を検討している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低年2回半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	「一般発達検査表を参考に、適応行動状況を図るといいのではないかと」という意見が出たものの、実際の運用に至っていない。スタッフが平等な見立てをするために、来年度チームで検討し使用できるところまで持っていく予定。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	立案は、担当が考えたものをチームで話し合い活動担当が準備し実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校休業日や長期休暇等は、午前の活動と午後の活動に分け、子どもたちが飽きないように工夫しながらプログラムを設定し支援している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1日の活動で必ず集団活動を取り入れている。基本的な生活習慣や作品作り等については、子どもの状況に応じ適宜個別活動も行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	勤務開始時間が異なるスタッフがいるため、前日に次の日の確認事項を申し送りノートに記入し、次の日にはそのノートを通じて支援内容や役割分担を確認するとともに、口頭でも伝えるようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフが夕礼を行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	創作活動や余暇の提供に関する支援は行えているが、学校との連携や地域交流を取り入れた支援ができていない。来年度は放課後デイサービスや児童クラブ等と連携をとるために計画を立てることを職員間で話し合い実施していく。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的に子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加するが、できない場合は担当から状況を聞いた上で参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学後に利用された子どもに関しては、就学前の情報が記載されているサポートブックを通じて保護者と共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センター主催の研修に参加しているが、それ以外で連携をとる機会がない。助言を受ける機会を設けていただければ、是非お願いしたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は計画に組み込んだので、最低1回は実施する予定である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	毎回参加し、議事録を後日印刷しスタッフに回覧し共有している。市が主催する福祉まつりへも積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所やご自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	日々の送迎時にお伝えしたり保護者面談の機会を設け、その中でお伝えしている。月1回臨床心理士の保護者相談会も実施しており、希望者には無料参加していただき、ペアレント・トレーニングの支援を行っている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の活動の支援や、保護者会の開催は行っていないが、施設で行う夏祭りや餅つき等の行事に保護者様をお誘いしたり、戸外でのBBQ等交流できる機会を提供している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺っている。相談支援専門員にも連絡し、再発防止に努めている。
34		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者様へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新したりInstagramで発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に署名捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化、単語や二語文、身振り手振り、視覚化等で、保護者には繰り返しや具体的な説明等の配慮をしている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	夏祭りの流しそうめんやお正月のお餅つき等、ご近所の方へ声掛けをし、地域との交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者様と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できしており、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者様に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、火災・地震・水害等の避難訓練を実施し、避難場所への道のりを確認している。紙芝居やDVDを使い、視覚的にもわかりやすい訓練を行う等工夫をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックをし、事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を確認し、スタッフ間で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。